

「中山市長から考えた、「県市協調」は？」

中山 他市に比べて財政力が非常に乏しい。その中で何かの事業をしなければいけない。ですから、そこは有利な補助金を活用し、そのお手伝いをさせていただきたい。後藤田さんは、長年の経験があつて。国、県、市、自治体の職員さんを非常に大事にしていらつしやる。だからそのパイプというのはずつと繋がつていらつしやる。そのことから、防衛省をはじめ色んな各省庁に繋いでいただきました。そういう繋ぎ役をしていただける方なので、財政の厳しい本市においては非常に有難い、頼もしい存在です。

「ジェットスターの誘致という話もあったが、小松島にとつてのメリットは？」

中山 人が徳島県に来て、そこから果実が落ちてくる可能性があります。古い倉庫があるでしょ、あそこに高速船が着く。ここを玄関として関空に出ていくようになったら、小松島市の人の流れが帰ってくると思つております。倉庫群を整備しイルミネーションを飾つてもらい、ヨットを誘致していただくなど、航路、海を活用していただけるような施策をしていただきたい。

「今度本港地区の施設を変えていくんですよ？」

中山 若い人に話を聞いたら、「小松島って何も無いよね〜」「行くと



ところがないんだよ」と。小松島には子供連れの行き場所が今は少ないので、そこをしっかりと作ってほしい。SL広場に大型遊具を置いて、子どもが遊べるような。そしてkocoroも全面的にリニューアルし、木のおもちゃ美術館のようなものを作つて、一日中天候に左右されず、親子連れが遊べるような施設にしていき、アミューズメントを作つてく。後藤田さんをお願いしたいのは、スポーツ振興をされるということなので、ブルーラインをしつかりと整備していただいて、自転車乗りを小松島、阿南に誘導していただければ、ラーメン、竹ちくわ、フィッシュカツ、しらすを食べに来てくれるような仕掛けを作つていただきたいと思ひます。

「県として港の活用方法は？」

後藤田 中山市長から夢のあるご提案を頂いています。県としても全面的にぜひ協力したいと思ひます。倉庫群は、万代埠頭を色んな人がリノベーションして、非常に盛り上がりがあります。しかし前例踏襲主義でチャレンジできてないものがある。例えばまさに中山市長が誘致されたサ

ウンドハウスさんは楽器卸において日本一の会社です。そんな会社があつて「じゃああそこでライブができるんだ」と。「音の街」としてね。サウンドハウスさんと一緒に、で、市長も楽器やられるので、これはね、本当にいいと思ひますよ。この埠頭で楽器が弾けて、ガンガン音出せて。そして皆、「なんだ、面白いじゃん！」つてなつて来ますよ。また、雨降つた時に遊ばせる場所がないだと聞きます。さつき中山市長が具体的な案を出されてました。中山さんは得意なところだから、いろんな所をリノベーションしていく。これは市長に期待したいです。そういう意味での全面的な協力をしていきたい。

「観光を含め今後の小松島市のビジョンは？」

中山 本市は2つの拠点を今後計画をしております。まず1つはこの本港地区です。それと、立江櫛渕活性化インター。そこを結節点として、人々が集えるような場所にしていきたいというような思ひがあります。また小松島市はクルーズ船が寄港します。今後、カーボンニュートラルを見据えて造船された多くの船が寄港できるように、電源供給施設の整備をお願いしたい。



「最後に、県民の皆さまに向けて何か一言。」

後藤田 徳島新時代は挑戦する気持ちを県民のみならずにもれなくもつていただく。挑戦しないと成長はしません。ぜひ、その気持ちを共有すること。幸福度を上げて、また挑戦する徳島で、もう一度強い徳島が取り戻せるように、未来に引き継いでいきたいと思ひます。頑張ります。

「中山市長、市民の皆さまに今後の未来を一言。」

中山 小松島市第6次総合計画、後期基本計画の実現に向けて取り組んでいるところなんです、その

キャッチフレーズが「未来へ輝く、希望と信頼のまち、こまつしま」なんです。今があつて未来がある。その未来を見据えた計画。今までの小松島は過去ばかりに拘つてしまつて、未来をあまりみていなかったのかな、と反省するところがあります。やはり市民の皆さまが「本当に小松島つて変わったな」つて思つていただければいい。その実現のためには猶予はないと思つております。「もっともっとスピード感をもって、民間レベルの速さでやつていこうよ」そういう強い決意と覚悟をもって引き続き市政運営をしていきたいと思つております。

ふれあい行政出前講座

中山市長と小松島の未来を語りませんか



市長が市内で活動している団体等の皆様の元へ出向き、様々なテーマで意見交換を行います。参加団体を募集しますので、市長との対話を希望される方は、ぜひ、お申し込みください。

■対象 市内に居住、在勤、在学する人で構成する団体やグループ（原則5人以上で、個人は対象となりません）

■実施場所 会場（市内の公共施設、地区集会所等）の確保は申込団体でお願いします。

■申込方法 申し込みを希望される団体等の方は、実施希望日の1カ月前までに市秘書広報課へお問い合わせください。

■実施日時 希望日（祝日と年末年始を除く）の午前9時〜午後9時までの間で90分以内

※日程調整後、実施日を決定します。

Mail: hshokouhou@city.komat
sushimai-tokushima.jp